

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 1月28日
Date of Application:

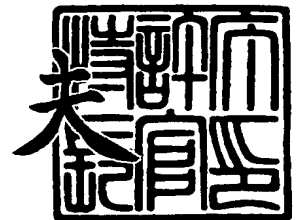
出願番号 特願2003-018722
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP 2003-018722]

出願人 株式会社リコー
Applicant(s):

2003年12月22日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康



出証番号 出証特2003-3106313

【書類名】 特許願

【整理番号】 0208080

【提出日】 平成15年 1月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/32

【発明の名称】 画像形成装置、制御方法及び該方法を実行するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【請求項の数】 7

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

 【氏名】 田窪 仁

【特許出願人】

 【識別番号】 000006747

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

 【氏名又は名称】 株式会社リコー

 【代表者】 桜井 正光

【代理人】

 【識別番号】 100093920

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小島 俊郎

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 055963

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808449

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像形成装置、制御方法及び該方法を実行するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第 1 の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第 2 の記憶手段と、受信文書データを前記第 1 の記憶手段に記憶し更に前記第 2 の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを前記第 2 の記憶手段にコピーしないように前記バックアップ手段に制限を付加するように制御する制御手段とを有することを特徴とした画像形成装置。

【請求項 2】 ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第 1 の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第 2 の記憶手段と、受信文書データを前記第 1 の記憶手段に記憶し更に前記第 2 の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、前記第 2 の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してネットワークを介して参照要求があったとき前記第 2 の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は前記第 2 の記憶手段を参照するためのネットワークからのアクセスを制限するように制御する制御手段とを有することを特徴とした画像形成装置。

【請求項 3】 ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、Web ブラウザから受信文書データを参照可能な Web サーバ手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第 1 の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第 2 の記憶手段と、受信文書データを前記第 1 の記憶手段に記憶し更に前記第 2 の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、前記第 2 の記憶手段に記憶されている受信文書データに対して Web ブラウザから参照要求があったとき前記第 2 の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを

判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は前記第2の記憶手段を参照するためのWebブラウザによるアクセスを制限するように制御する制御手段とを有することを特徴とした画像形成装置。

【請求項4】 ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行う際、受信文書データが親展文書であるか否かを判定し、判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを前記第2の記憶手段にコピーしないように前記バックアップ機能に制限を付加するように制御することを特徴とした画像形成装置の制御方法。

【請求項5】 ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行い、前記第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してネットワークを介して参照要求があったとき前記第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定し、判定結果受信文書データが親展文書である場合は前記第2の記憶手段を参照するためのネットワークからのアクセスを制限するように制御することを特徴とした画像形成装置の制御方法。

【請求項6】 ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行い、前記第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してWebブラウザから参照要求があったとき前記第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定し、判定結果受信文書データが親展文書である場合は前記第2の記憶手段を参照するためのWebブラウザによるアクセスを制限するように制御することを特徴とした画像形成装置の制御方法。

【請求項7】 請求項4～6のいずれかに記載の画像形成装置の制御方法を実行するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は画像形成装置、制御方法及び該方法を実行するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関し、詳細には受信文書を印刷せずに何らかの指示があるまで記憶手段に保持した状態をとる機能を有するファクシミリ装置、複合機等の画像形成装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

【特許文献1】 特開平1-229543号公報

【特許文献2】 特開平5-48648号公報

近年、ネットワークで接続されたPCにデータを転送することで印刷せずに受信文書の内容を確認できるファクシミリ装置が製造されており、PCから引き取りや印刷の指示があるまでメモリにデータを保持しておくものなどがある。しかし、データの蓄積がメモリだけであると、長時間の停電などによりデータが消失してしまう可能性がある。また、大量のデータを保存したり再利用するなどの目的でハードディスクを搭載するファクシミリやその複合機が出現しており、このハードディスクを利用してメモリに蓄積されている画像データをバックアップすることで信頼性を向上させることがいくつか従来例として提案されている。

【0003】

その中で、上記特許文献1や特許文献2では複数の蓄積装置によってバックアップし、蓄積装置の障害によるデータ消失を防ぐことが提案されている。また、近年のファクシミリ装置は、PCをネットワーク接続したり、コピーやプリンタ機能を搭載した複合機が多く存在し、ハードディスクを複数の機能が共有してそれぞれの機能が蓄積、印刷、加工などを行うことが可能となっているものがある。しかし、ファクシミリの受信ファイルのように印刷するなどして内容を確認する前に消えてしまったり内容が変えられたりしては困るものはファクシミリ以外の機能やPCからアクセスできることは好ましくない。そこで、ファクシミリ機能だけがアクセス可能なメモリに記憶されている受信文書データのみをネットワーク接続されたPCやファクシミリ以外の機能からアクセス可能なハードディス

ク等にも蓄積するファクシミリ装置が提案されている。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、ファクシミリの受信文書の中には、親展受信文書のように特定の相手にだけ伝えたい内容のものを親展 I D 等のパスコードを入力することにより印刷可能となるものがあり、ネットワークから受信文書を参照できるような機能を持つファクシミリ装置においては、不特定多数のユーザから受信文書の閲覧が可能となるため、親展受信文書のような他人に見られたくない文書の扱いをどうするかが問題となってくる。

【 0 0 0 5 】

本発明はこのような問題点を解決するためのものであり、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる画像形成装置、制御方法及び該方法を実行するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決しようとする課題】

前記問題点を解決するために、本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第 1 の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第 2 の記憶手段と、受信文書データを第 1 の記憶手段に記憶し更に第 2 の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを第 2 の記憶手段にコピーしないようにバックアップ手段に制限を付加するように制御する制御手段とを有する。よって、親展受信文書の機密性が保持できる。

【 0 0 0 7 】

また、本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第 1 の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第 2 の記憶手段と、受信文書データを第 1 の記

憶手段に記憶し更に第2の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してネットワークを介して参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのネットワークからのアクセスを制限するように制御する制御手段とを有する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0008】

更に、本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、Webブラウザから受信文書データを参照可能なWebサーバ手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段と、受信文書データを第1の記憶手段に記憶し更に第2の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してWebブラウザから参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのWebブラウザによるアクセスを制限するように制御する制御手段とを有する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0009】

また、別の発明としての画像形成装置の制御方法によれば、ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行う際、受信文書データが親展文書であるか否かを判定する。判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを第2の記憶手段にコピーしないようにバックアップ機能に制限を付加するように制御する。よって、親展受信文書の機密性が保持できる

【0010】

更に、別の発明としての画像形成装置の制御方法によれば、ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行う。そして、第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してネットワークを介して参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定し、判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのネットワークからのアクセスを制限するように制御する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0011】

また、別の発明としての画像形成装置の制御方法によれば、ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行う。そして、第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してWebブラウザから参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定し、判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのWebブラウザによるアクセスを制限するように制御する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0012】

更に、別の発明として、上記記載の画像形成装置の制御方法を実行するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に特徴がある。よって、既存のシステムを変えることなく、画像形成装置の制御システムを汎用的に構築することができる。

【0013】

【発明の実施の形態】

本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段と、受信文書データを第1の記憶手段に記憶し更に第2の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを第2の記憶手段にコピーしないようにバックアップ手段に制限を付加するように制御する制御手段とを有する。

【0014】

【実施例】

図1は本発明の一実施例に係る画像形成装置の構成を示すブロック図である。なお、以下の実施例ではファクシミリ装置を例として説明するものとする。図1において、本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置100は、スキャナ101、プロッタ102、符号化復号化部103、システム制御部104、ネットワーク制御部105、網制御部106、モデム107、第1の記憶手段108、第2の記憶手段109、操作表示部110を含んで構成され、各構成要素はシステムバス111を介してそれぞれ接続されている。また、スキャナ101は、原稿を読み取り、画情報を出力する。プロッタ102は、画情報を印刷する。符号化復号化部103は、画情報に対して符号化处理、あるいは復号化处理を施す。システム制御部104は、システム全体を制御する。ネットワーク制御部105は、LAN等のネットワーク網への送受信を制御する。網制御部106は、電話回線網への送受信を制御する。モデム107は、網制御部106を介して外部のPC等とデータのやり取りを司る。第1の記憶手段108は、ファクシミリ装置以外からはアクセスできない記憶手段である。第2の記憶手段109は、ネットワーク制御部105を通じてPCなどからアクセス可能となっている記憶手段である。操作表示部110は、操作パネル等により指示や表示を行う。また、本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置では、電源オン時に第1の記憶手段108及び第2の記憶手段109の内容をチェックし、第1の記憶手段108又は第2の記憶手段109のどちらかのファイルが消えてしまっていた場合残っ

ている方から消えてしまった方へデータをコピーするバックアップ機能を有している。

【0015】

図2は本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置の受信文書記憶動作を示すフローチャートである。同図において、先ず電話回線を通じてPCから文書を受信したら（ステップS101）、受信文書は図1の第1の記憶手段108へ記憶される（ステップS102）。そして、受信文書が親展文書なのかそうでないかを判別し（ステップS103）、親展文書でなければ（ステップS103；NO）受信文書を図1の第2の記憶手段109へコピーして記憶して（ステップS104）処理を終了する。また、ステップ103において親展文書であった場合には（ステップS103；YES）第2の記憶手段109に記憶せずに処理を終了する。

【0016】

図3は本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置の受信文書参照動作を示すフローチャートである。同図において、先ずPCから図1のネットワーク制御部105を通じて図1の第2の記憶手段109の内容を参照要求すると（ステップS201）、第2の記憶手段109に記憶されている受信文書を検索する（ステップS202）。検索した文書が親展文書かどうか判別し（ステップS203）、親展文書でなければ（ステップS203；NO）図1のネットワーク制御部105を通じてPCへ文書情報を送り（ステップS204）。一方、親展文書であれば（ステップS203；YES）ステップS205へ処理を進める。ステップ205では検索すべき文書の有無を判別し、検索すべき文書があれば（ステップS205；NO）ステップS202以降の処理を繰り返し、無ければ（ステップS205；YES）処理を終了する。

【0017】

図4は本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置のWebブラウザから受信文書の情報を参照した場合の動作を示すフローチャートである。同図において、先ずWebブラウザから図1のネットワーク制御部105を通じて図1の第2の記憶手段109の内容を参照要求すると（ステップS301）、第2の記憶手

段 109 に蓄積されている受信文書を検索する (ステップ S302)。検索した文書が親展文書かどうか判別し (ステップ S303)、親展文書でなければ (ステップ S303; NO) 図 1 のネットワーク制御部 105 を通じて Web ブラウザへ文書情報を送り (ステップ S304)、親展文書であれば (ステップ S303; YES) ステップ S305 へ処理を進める。ステップ S305 では検索すべき文書の有無を判別し、検索すべき文書があれば (ステップ S305; NO) ステップ S302 以降の処理を繰り返し、無ければ (ステップ S305; YES) 処理を終了する。

【0018】

次に、図 5 は本発明のシステム構成を示すブロック図である。つまり、同図は上記実施例における画像形成装置の制御方法によるソフトウェアを実行するマイクロプロセッサ等から構築されるハードウェアを示すものである。同図において、画像形成装置の制御システムはインターフェース (以下 I/F と略す) 51、CPU 52、ROM 53、RAM 54、表示装置 55、ハードディスク 56、キーボード 57 及び CD-ROM ドライブ 58 を含んで構成されている。また、汎用の処理装置を用意し、CD-ROM 59 などの読取可能な記憶媒体には、本発明の画像形成装置の制御方法を実行するプログラムが記憶されている。更に、I/F 51 を介して外部装置から制御信号が入力され、キーボード 57 によって操作者による指令又は自動的に本発明のプログラムが起動される。そして、CPU 52 は当該プログラムに従って上述の画像形成装置の制御方法に伴う制御処理を施し、その処理結果を RAM 54 やハードディスク 56 等の記憶装置に格納し、必要により表示装置 55 などに出力する。以上のように、本発明の画像形成装置の制御方法を実行するプログラムが記憶した媒体を用いることにより、既存のシステムを変えることなく、画像形成装置の制御システムを汎用的に構築することができる。

【0019】

なお、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲内の記載であれば多種の変形や置換可能であることは言うまでもない。

【0020】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段と、受信文書データを第1の記憶手段に記憶し更に第2の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを第2の記憶手段にコピーしないようにバックアップ手段に制限を付加するように制御する制御手段とを有する。よって、親展受信文書の機密性が保持できる。

【0021】

また、本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段と、受信文書データを第1の記憶手段に記憶し更に第2の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してネットワークを介して参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのネットワークからのアクセスを制限するように制御する制御手段とを有する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0022】

更に、本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、Webブラウザから受信文書データを参照可能なWebサーバ手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段と、受信文書データを第1の記憶手段に記憶し更に第2の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してWebブラウザから参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判

定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのWebブラウザによるアクセスを制限するように制御する制御手段とを有する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0023】

また、別の発明としての画像形成装置の制御方法によれば、ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行う際、受信文書データが親展文書であるか否かを判定する。判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを第2の記憶手段にコピーしないようにバックアップ機能に制限を付加するように制御する。よって、親展受信文書の機密性が保持できる

【0024】

更に、別の発明としての画像形成装置の制御方法によれば、ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行う。そして、第2の記憶手段に記憶されている受信文書データに対してネットワークを介して参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定し、判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのネットワークからのアクセスを制限するように制御する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0025】

また、別の発明としての画像形成装置の制御方法によれば、ファクシミリ通信により受信した受信文書データをネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段に記憶し、更にネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段にコピーするバックアップ機能を行う。そして、第2の記憶手段に記憶さ

れている受信文書データに対してWebブラウザから参照要求があったとき第2の記憶手段に記憶されている受信文書データが親展文書であるか否かを判定し、判定結果受信文書データが親展文書である場合は第2の記憶手段を参照するためのWebブラウザによるアクセスを制限するように制御する。よって、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【0026】

更に、別の発明として、上記記載の画像形成装置の制御方法を実行するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に特徴がある。よって、既存のシステムを変えることなく、画像形成装置の制御システムを汎用的に構築することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施例に係る画像形成装置の構成を示すブロック図である。

【図2】

本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置の受信文書記憶動作を示すフローチャートである。

【図3】

本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置の受信文書参照動作を示すフローチャートである。

【図4】

本実施例の画像形成装置であるファクシミリ装置のWebブラウザから受信文書の情報を参照した場合の動作を示すフローチャートである。

【図5】

本発明のシステム構成を示すブロック図である。

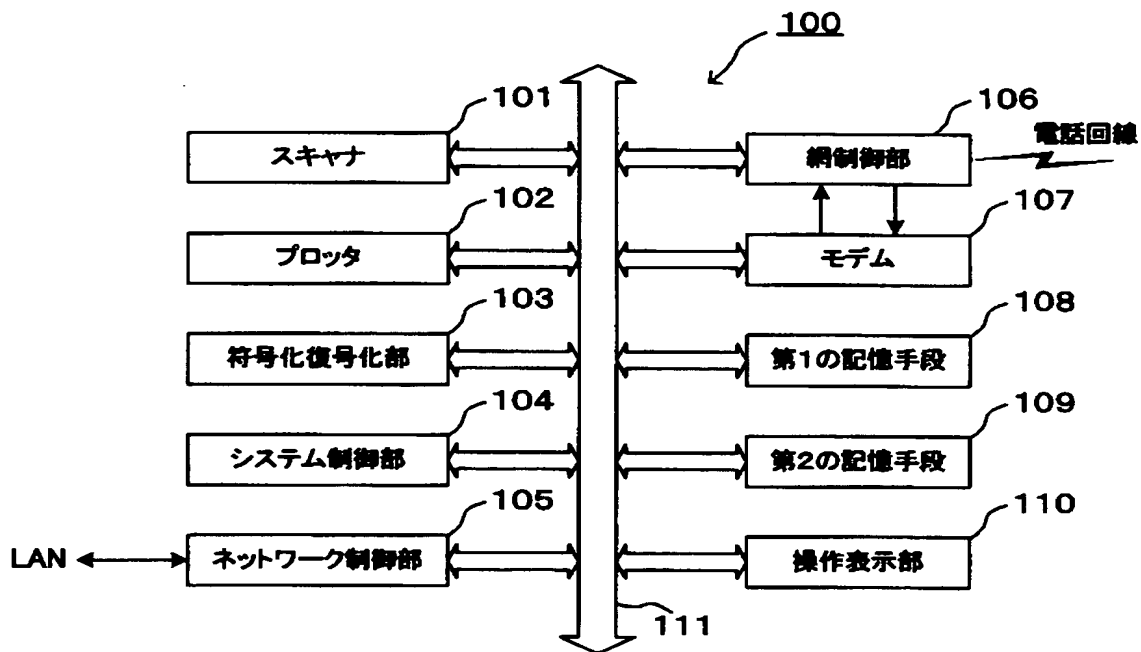
【符号の説明】

100；ファクシミリ装置、101；スキャナ、102；プロッタ、
103；符号化復号化部、104；システム制御部、
105；ネットワーク制御部、106；網制御部、107；モデム、

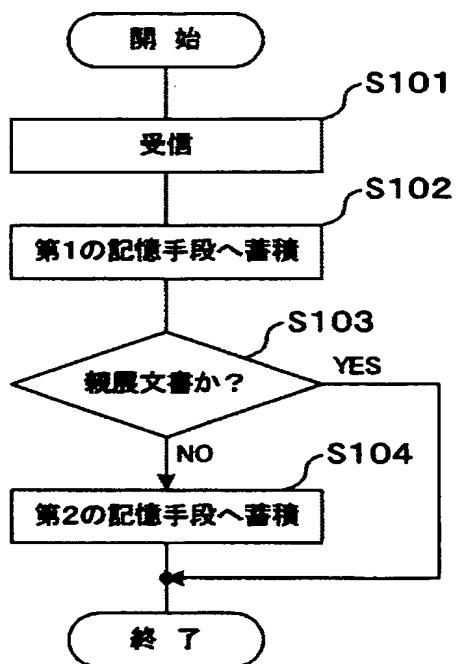
1 0 8 ; 第 1 の記憶手段、 1 0 9 ; 第 2 の記憶手段、 1 1 0 ; 操作表示部、
1 1 1 ; システムバス。

【書類名】 図面

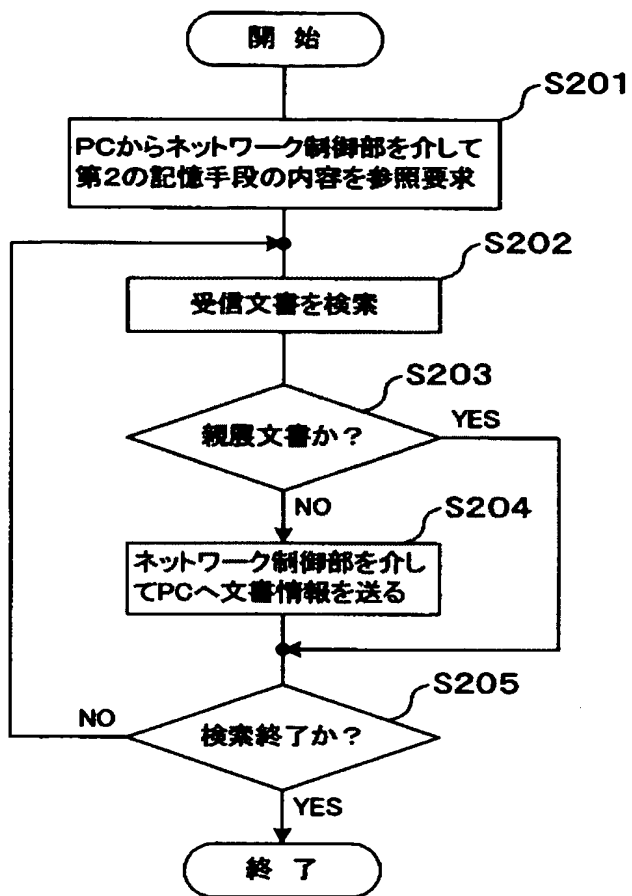
【図 1】



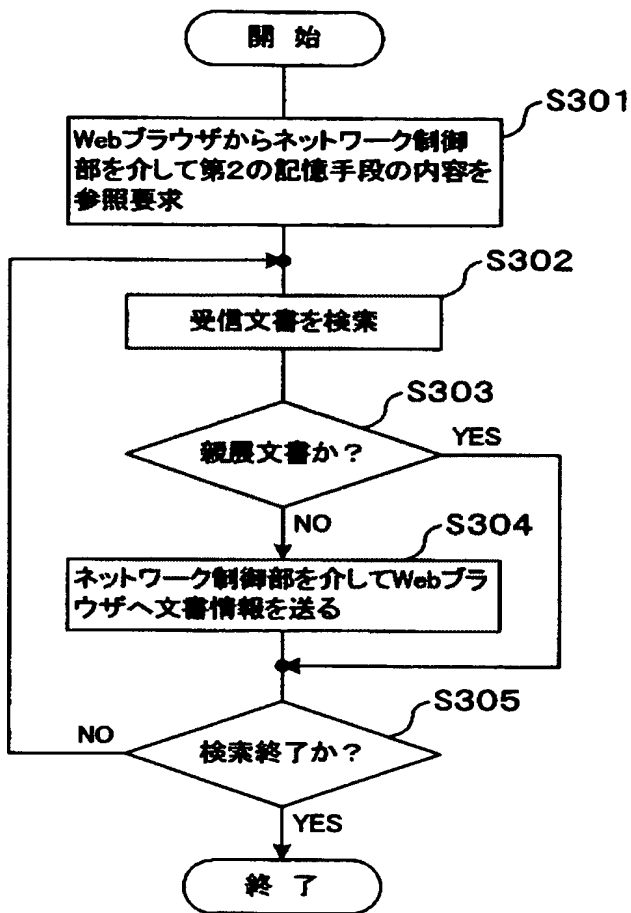
【図 2】



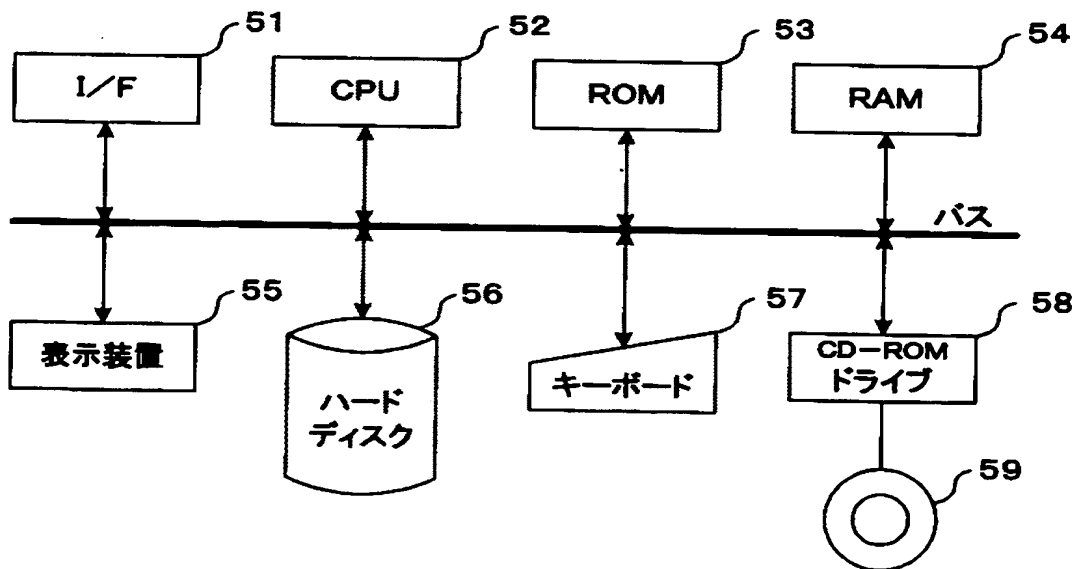
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、親展受信文書の機密性が保持できると共に、データのバックアップ機能を維持しながら信頼性を高めることができる。

【解決手段】 本発明の画像形成装置は、ファクシミリ通信を行うファクシミリ通信手段と、ネットワークからのアクセスが不可能である第1の記憶手段と、ネットワークからのアクセスが可能である第2の記憶手段と、受信文書データを第1の記憶手段に記憶し更に第2の記憶手段にコピーするバックアップ手段と、受信文書データが親展文書であるか否かを判定する判定手段と、該判定手段による判定結果受信文書データが親展文書である場合は受信文書データを第2の記憶手段にコピーしないようにバックアップ手段に制限を付加するように制御する制御手段とを有する。

【選択図】 図1

特願 2 0 0 3 - 0 1 8 7 2 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 6 7 4 7]

1. 変更年月日

2 0 0 2 年 5 月 1 7 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

氏 名

株式会社リコー